

2017年度ラファエラ・マリア会 幹事会 議事録

日時：2017年9月21日（木）10：30～12：15

会場：ラマリヨ館

出席者：77名（校長先生・顧問・幹事60/134名・役員8名・会報委員6名・事務局：1名）

司会：伊藤（果） 書記：中山

1. 開会のことば（司会：伊藤果）

2. 校歌斉唱（ピアノ：増田）

3. 松井会長あいさつ

本日の出席60/134名。会予算が赤字であり、今年度は繰越金から補填して活動せざるを得ない状況。この現状を共有し、乗り越える方法を今回皆で考えてゆきたい。

今後の会の在り方を考えるアンケート、および名簿回収（個人情報の観点から）も協力願いたい。

4. ①高倉校長先生あいさつ

本日は、明日から2日間開催される清泉祭の準備活動日。お時間のある方は足を運んで頂きたい。

生徒数の減少による収入減で、学校自体の財政も厳しい状況にある。老朽化した校舎の修繕等も考えており、今年度初めて、ラファエラ・マリア会報誌で寄付のお願いをした。結果、翌日から寄付が集まり、8月31日現在で190名の方から寄付があった。感謝すると同時に、今後も継続して募っていききたいので協力願いたい。

10年間の総長の任期を終えられて、雪ノ下修道院に戻られた St. 深沢に、教員向けの講演をしていただき、建校の理念の素晴らしさを改めて確認できた。（今年度の入学案内にも St. 深沢の写真を掲載）

学校の様子について、昨今の活躍めざましい音楽部は、朝日新聞の合唱コンテストに出場が決定。また、用賀にある清泉インターナショナルスクールとの話し合いで、本校から10名の生徒を受け入れてもらうことになり、応募40名の中から選抜された現中学3年生の10名が9月より進学することになった。清泉インターナショナルスクールの授業内容は、国際バカロレア*注のカリキュラムに基づいたものであり、世界的な視野を持てる生徒の育成が期待できる。これをきっかけに、世界に50もある姉妹校と交流をはかりながら、生徒に勉強させる機会を広げていきたい。

先日、17期の卒業50周年同窓会を開催。同窓生、ラファエラ・マリア会共に、いつも学校に寄り添い、一生懸命学校の発展のために尽くしてくれることに感謝している。

*注 国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラム。

国際バカロレア(IB:International Baccalaureate)は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施。

②平塚先生あいさつ (ラファエラ・マリア会顧問)

自身は45期の卒業生。顧問を務めている演劇部のリハーサルがあり、すぐに退席せねばならず申し訳ない。明日からの清泉祭案内冊子の余分があるので、欲しい方には差し上げたい。

5. 前期活動報告 (松井会長・各担当)

- ① 会報委員会より (和田) : 5/18(水)会報 46号発行、39、40Kの委員で作業。会報47号については40K、41Kで作業中。1年分の情報と併せ、16K~57Kの卒業生6名、および恩師に原稿依頼。また表紙については64Kの美大卒業生に依頼。執筆をお願いする卒業生探しに苦労しているが、先日原稿を寄せて頂いた方のピアノコンサートに行った際、先輩や後輩と出会えることができ、同窓生のつながりに感謝した日となった。
- ② バザー委員より (増淵) : 7/8(土)バザーへの参加・会計報告 ※別紙参照
びっくり市の呼称、「献品」を「提供品」に変更。なお、提供品については随時受付中。良いものあれば「バザー提供品」として届けてほしい。
- ③ 会議の開催 役員会(5/11, 6/8, 7/13, 9/14)・会報委員会(5/25, 6/8, 7/13)・幹事会 9/21
- ④ お祝い金贈呈 4/20(木)(卒業50年—17期、30年—37期)
- ⑤ ACIファミリーのミサに参加 5/20(土)
- ⑥ 68期入会案内のため高3保護者会に出席 5/27(土)
- ⑦ 学校・在校生支援
奨学金3名・部活動支援・ベルマーク収集協力

6. 前期会計報告、および財務状況 (会計/高森・織田) *別紙参照(3枚)

◆前期会計報告(会計/高森) :

収入総額(9/14現在) : 1,398,955円

主な収入として、維持費: 591口(1,186,200円)。納付対象者が3000人以上いるが、納付率 **16%** と大変低い納付率である。

支出総額(9/14現在) : 5,471,570円

支出額の大きな項目として、活動費: 2,434,300円。

内、会報印刷費; 1,568,661円、発送費用: 675,691円を含む。会報誌関係の支出は、

見込み収入の約 **33%**に相当。

学校・在校生支援合計：1,416,000 円（内、奨学金（3名分）：1,296,000 円を含む）

見込み収入の約 **21%**に相当。

年度末に、同窓会費の振込（予定：166名）があると仮定しても、赤字を出さないで会の運営を行うには、残金が約90万円しかないという厳しい現状である事を幹事にご理解頂きたい。最初から、約160万円の赤字予算案であったため、少しの余剰金を出すのも今の段階では非常に厳しい。

◆財務状況の分析、および説明（会計／織田）

・収入状況について（資料1参照）

毎年の会の収入額は、ほぼ一定である。支出額は、毎年卒業生が約170名ずつ増えるので、増加傾向にある。2016年度時点ですでに、収支はプラスマイナスゼロになり、余剰金が出ない状況に陥っている。収入を増やすと同時に、支出内容の吟味、変更が必要な時期にきている。

・維持費の徴収状況について：

新規会員については、生徒数減という現状。⇒今後当会として、生徒の数を少しでも増やす方法を考えてゆく。

当会員については、4人に3人が未納という現状。2004年に卒業後30年目から徴収することが明文化された後も、徴収割合はどの年も、各期50パーセントに達している事はなく、20～30%。原因としては、①当会の認知度の低さ②維持費＝義務であることが、浸透していない。

⇒会員にこの現状を広く理解してもらいつつ、母校支援の在り方、維持費制度について再検討する。また会員であることのメリットを感じられるようなことも考えていきたい。

・支出状況について：

支出項目のうち、会報誌印刷発送費と学校・在校生支援が、全体に占める割合が大きい。（資料2参照）

① 会報誌について

- ・ 現行のサイズが、封筒印刷費用の点から見てもコスト高である。
- ・ 印刷会社入稿する原稿のスタイルについても検討が必要。現在、会報委員の作業環境（PC やソフト面も含めて）も整備されていない。こちらが希望する編集方法や作業スキルに印刷会社が対応出来ない事もある。
- ・ 情報発信媒体として価値。

② 学校・在校生支援について

- ・ 奨学金対象者の増加（1人→3人に増加）
- ・ クラブ遠征費用の増加。
- ・ 様々なコストの値上がりの影響

現状では赤字決算で終わる可能性が非常に高いことをご理解頂き、高額支出を減らすことが急務。会報誌についての見直し等、可能なところから削減していきたい。

〈質疑応答〉

◆質問（41期 照下）：会計報告について、赤字理由を再確認したい。

高森：表の通り。収入見込が今後変わらぬようであれば、赤字を重ねることになる。

今後はマイナス決算を重ねずに、収入のある仕組みを考えたい。

質問：800口という見込みが甘いのでは。審議に持ち込むには資料をもっと明確にすべき。

会長：検討します。

◆質問（16期 徳本）：会報の支出が維持費を上回っている現状を見ると、残念だが、紙面、内容の見直しを図り、維持費に見合ったものを作るべき。

会長：その方向で検討中。

◆質問（22期 齊藤）：在校生支援について、奨学金に余裕があるという理由で、2人から3人に増えたと以前に聞いた。奨学金は限度額があるのか。

会長：限度額はなく、その年の状況次第。

質問：先輩としてサポートしたい気持ちは山々だが、全体としての支出を考えると限度額は必要ではないか。

会長：同意。身の丈に合った支援を、維持費納入に合わせて考えていきたい。また、資金援助という方法以外にも新たな形での学校支援方法（HP開設・OG訪問）も検討中。

校長：支援には感謝している。部活動支援は音楽部に限らず、関東大会等で遠征や宿泊が必要になった場合の補助として使わせて頂いている。

質問（41期 照下）：会報委員から、予算半減という話を聞いた。高額支出だから即削る、というやりかたは短絡的。問題点は収入見積にもあると思うので、各期の方が集まっているこの場で、方法を検討すべきでは。

司会（伊藤果）：時間が押している。幹事会終了後、役員が残るので、個別に質問を受け付ける。

7. 前期活動総括（松井会長）

- ・財政の健全化を図る⇒会報誌やクラブ支援費、会議費等、諸々の経費削減を検討。
バザーにおける、ワンコイン募金の実施。
- ・当会の認知度アップを目指す⇒バザーにおいて、当会館で当会の広報活動を実施。
活動や維持費の現状を知ってもらうと同時に、アンケートを実施。

当会の課題として、後期に向け以下3点の解決を図る。

- ① 財政の健全化 ②情報の伝達、コミュニケーションの向上 ③より魅力ある同窓会

8. 後期活動計画 (松井会長・各担当)

- ① 会議の開催 役員会・会報委員会 (当会館大掃除)
- ② 学校の要請を受け、ブログをリニューアルしホームページ (無料プランを利用) を制作。
- ③ 会報 47 号の編集作業・会報 48 号の企画編集作業 (仕様・紙面の変更を検討中)
- ④ 追悼会の開催 11/4 (土) 13 時 30 分より (受付 13 時より)
追悼ミサ会場：講堂 茶話会会場：ラファエラ・マリア館
(今年度：恩師 1 名・同窓生 30 名)
- ⑤ 姉妹校同窓会交流会 11/11 (土) 予定 於・長野清泉女学院
- ⑥ 役員経験者懇談会 2018 年 1/11 (木) 予定：同窓会の歴史 (沿革) について纏めたい。
例：同窓会の名称が、清窓会→ラファエラ・マリア会に変更された経緯について等
- ⑦ 今後の課題解決に向けて後期活動総括 (松井会長・会計／高森)：
前期に引き続き、
 - 財政の健全化を図る⇒会報誌、会議費等できるところから削減。同時に収入アップ策として同窓会グッズ (キャラクターベア等) の販売案あり。
 - コミュニケーションの向上⇒ブログからホームページ (以下HP) へ。当会活動に関し、サイト内情報の構造化が可能なHPを作成中。
 - より魅力ある同窓会 ⇒入りたい、参加したい魅力ある同窓会を目指し、認知度を高める (HPの充実、講演会、OGによる異業種交流、栄光学園との交流等の催し企画案有。)

収入増を目指し、バザーにおける当会のグッズ販売も検討中。また当会のメリットを増やすべく、様々な企画を検討中なので、今後も協力願いたい。

9. 次年度の幹事・委員・役員選出について (司会／伊藤果)

- ・幹事 来年度の幹事氏名を 2 月末までに所定の用紙にて提出。
- ・バザー委員 29 期 2 名 (継続) 30 期 2 名
- ・会報委員 41 期 3 名 (継続) 42 期 3 名
- ・次期役員 (2018～2019 年度)
 - 会長 29 期 (継続) 副会長 30 期 2 名 (継続)
 - 会計・庶務・書記 31 期 3 名 (継続) 32 期 3 名 (継続)

尚、転居などの理由で途中で役を降りる場合は、必ず代わる方を見つけて同期幹事に連絡を入れて頂きたい。

10. 会長より幹事さまへ

忙しい中足を運んで頂いた方々に感謝。同窓会の継続・活性化が母校の発展をもたらす。キラキラ輝く同窓会が求められている。幹事様あつての役員会活動なので、今後も当会のさらなる発展のためにご協力願いたい。

1 1. アンケートのお願い（連絡事項） *別紙

- ・先の定期総会で 20 期の幹事さんから、会報誌表紙作成者に謝礼金をと
のご提案有り。役員会で話し合った結果、謝礼金はしないという事になった。
- ・「アンケート」と「名簿回収調査票」の記入お願い
- ・追悼会の該当期幹事さん宛…幹事会終了後、役割分担の説明会有。

1 2. 閉会あいさつ（司会／伊藤果）